

平成30年度 学校自己評価（職員による年度末評価）

25 長野県屋代高等学校
・附属中学校
平成31年2月 実施

職員による評価 A:十分 B:概ね十分 C:やや不十分 D:不十分

回答総数 74

評価項目	評価の観点	今年度の取り組みの成果	次年度への課題	A	B	C	D	H30年度末指	H30中間指標	H29年度末指
1	学校づくり	<p>探究活動（一人一研究・課題探究・課題探究）において、高い評価をいただいたり地域と連携したりと発展的な取り組みとなった。（SSH）</p> <p>海外研修において、海外の企業や研究機関と連携することができた。（SSH）</p> <p>オーストラリアのキャンベラカレッジとオンラインで交流できた。（SSH）</p> <p>科学リテラシーと総合的な学習を関わらせた実践について研究を深めた。（中1）</p> <p>中高一貫6年の見通しを持ちながら、中学3年間で必要な力や技能を検討しながら、改善を進めてきた。（中3）</p>	<p>S S H事業の目的を明確にし、生徒だけでなく職員にとっても有意義なものとする。（SSH）</p> <p>中間評価結果の検証と対策（SSH）</p> <p>継続したい。（SSH）</p> <p>ノウハウの引継ぎ（中1）</p> <p>教科や総合的な学習・科学リテラシーの学習内容について、さらに改善していく。（中3）</p>	44	27	3		88.9	81.3	85.3
2	キャリア教育	<p>従来の指導体制に基づき、補習・特編授業・夏期学習合宿・模試準備や復習の徹底等に取り組み、生徒の意識付けにも腐心した。（高3 キャリア指導係）</p> <p>基本的に例年のキャリア教育体制に従って補習（朝・放課後・土曜）、夏期補習、学習合宿、模試、講演会等を行い、粛々と生徒への指導を進めた。（高3 キャリア指導係）</p> <p>3年次完全コース制の実施、後期土曜補習の実施など、生徒の進路や学力を踏まえて、既存体制の改善を行った。（高2 キャリア指導係）</p> <p>ジョブシャドウイング、キャリア講演会、富山大学見学会を実施し、文理選択や進路希望を考えるきっかけ作りとした。（高1 キャリア指導係）</p> <p>学年行事「能登臨海実習」「職場体験学習」「イングリッシュキャンプ」「大学見学、集中学習」「修学旅行」を実施することを通して、社会や人とのかかわりを見直すことができた。（中学 キャリア指導係）</p> <p>これまでと異なる視点からキャリア教育を行い実践力・行動力を育てるよう計画し実践した。（中1）</p> <p>福祉体験の実施：長野県社会福祉協議会の事業を利用する形で実施。（中2）</p> <p>大学見学を3回行うことで、生徒への意識付けを行った。（中3）</p> <p>ジョブシャドウイング、キャリア講演会、大学見学会を行い、文理選択や進路希望を考えるきっかけ作りを行った。（高1）</p> <p>各考査の成績や、学習実態調査の結果を個人面談や保護者懇談会などに活かすことができた。（高1）</p> <p>昨年度台風のため中止された「大学・企業見学」を、5月、県内の大学に絞り込んで複数の学部を見学する形で実施した。文理選択を終えており、より深く学問分野を知る機会となった。（高2）</p> <p>本校のキャリア教育が培ってきた指導体制に基づき、補習・特編・学習合宿・模試等を実施し、生徒一人一人の進路実現をめざした。（高3）</p> <p>例年のキャリア教育体制を進める一方で、教師側からのアプローチより生徒側のモチベーションを重視した。刺激し合う学習集団の形成や「受験は団体戦」の合い言葉は、生徒の学習意欲を高める効果があった。（高3）</p> <p>模擬試験を利用し、過去問の取り組みや事後の復習で学力の伸長の意識付けができた。（高3）</p> <p>例年通り科目を絞らない指導、最後まで諦めずに学習に取り組む指導を行った。（高3）</p>	<p>次の学年にも継続したい。</p> <p>班活動との両立・授業への集中度・自習室利用等を通じ、集団として受験に取り組んでいく指導。（高3 キャリア指導係）</p> <p>新課程入試に対応できるように授業進度を考えながら、生徒の現状に即した指導法について研究を深めたい。（高2 キャリア指導係）</p> <p>オープンキャンパス参加を呼びかけ、志望校選択の一助とするよう働きかける。（高1 キャリア指導係）</p> <p>次の学年にも継続したい。</p> <p>時間の確保（中1）</p> <p>次の学年にも継続したい。</p> <p>次の学年にも継続したい。</p> <p>学年や各教科で情報を共有したい。（高1）</p> <p>計画通り高1の9月に実施するよう次の学年に継続したい。</p> <p>進学指導の経験が浅い（初めての）担任もいるので、キャリア教育係からの担任への指導方法の伝達が重要である。（高3）</p> <p>受験に取り組む集団作りを継続して、生徒のモチベーションを高める仕掛けの工夫。（高3）</p> <p>次の学年にも継続したい。</p> <p>一律の指導プラス生徒個々に応じ、個別に見極める指導・支援が必要である。（高3）</p>	0	27	1		90.2	83.9	89.2

2	キャリア教育	進路情報を生徒・保護者に向け有効に発信できたか。	<p>節目節目で学年集会を開いてキャリア担当より話をし、意識向上に努めた。また学年通信、進路室により等で必要な情報を提供した。(高3 キャリア指導係)</p> <p>毎週1回学年通信を発行し、各種進路資料を用いて進路情報を伝えることができた。また、総合学習においても進路について学ぶ機会を設けた。(高2 キャリア指導係)</p> <p>学年通信やHRでの配布物を中心に学校行事、進路選択また学習に関わる情報の提供ができた。(高1 キャリア指導係)</p> <p>学年通信を通して、キャリアに関する情報を発信した。参観日には保護者に学力推移調査や学習実態調査の結果をもとに説明することで、学習状況についての情報を共有した。(中学 キャリア指導係)</p> <p>学年通信を中心に学校行事・進路選択に関する情報の提供が出来た。(高1)</p> <p>学年通信により、各種進路情報を発信した。また、学年PTAや保護者説明会において、外部講師も招いて、保護者とも情報共有するよう努めた。(高2)</p> <p>学年通信、進路関連資料を配布し、学年PTA・保護者説明会等の際にもタイムリーな情報を発信した。(高3)</p> <p>年間7回ほど学年集会を開き、進路情報を伝えて意識向上に努めた。学年通信で必要な情報を提供した。(高3)</p> <p>一貫生一期生の進路状況報告会を中学保護者向けに実施した。(中学 キャリア指導係)</p>	<p>次の学年にも継続したい。</p> <p>保護者・生徒間、学校を加えた三者での情報の共有・理解が必要(高2 キャリア指導係)</p> <p>より内容の充実をはかりたい。(高1 キャリア指導係)</p> <p>継続したい。</p> <p>新テストに関することを、研究と発信が重要である。(高1)</p> <p>3年次の進路選択に向け、家庭とのより緊密な連携が必要である。(高2)</p> <p>次の学年にも継続したい。</p> <p>次の学年にも継続したい。</p> <p>進路状況報告会を中学PTA主体でなく、中学校主体として行い、情報を発信していく。(中3)</p>	48	24	2	90.5	85.9	89.2
		全教科にわたる総合的学力を養成し、国公立大学を中心に進路実現の可能性を拡げることができたか。	<p>科目を減らさず、5-7型で最後まで諦めずに学習に取り組む指導を行った。(高3)</p> <p>各教科の指導の取り組み情報や考査毎の個人績情報を学年で共有し指導に活用した。(高2)</p> <p>学年集会、保護者説明会、キャリア講演会などを通じて、大学や入試について、知識を深め、幅広く学習することの意義を強調した。(高1 キャリア)</p> <p>学力推移調査を全学年で行うことで、3年間の学力推移のデータをもとに学習方法について指導した。希望者模試(中3では5教科型、中1, 2では総合学力調査)を行い、各学年60名程度受援した。考査前には放課後質問講座を開催し苦手教科の克服に努めた。(中学 キャリア)</p> <p>学年集会、保護者説明会、キャリア講演会などを通じて、大学や入試についての意義を強調した。(高1)</p> <p>各教科の指導の取り組み情報や考査ごとの個人成績情報を学年で共有し指導に活用した。(高2)</p>	<p>一部ではあるが、科目を絞った方が良いと思われる生徒への対応も必要かと思われる。(高3)</p> <p>個々の生徒にバランス良く各教科の学力をつけるため、教科間の連携や課題の調整が必要である。(高2)</p> <p>2年次以降の学習指導においても、全教科にわたる総合学力の養成を目指す。(高1 キャリア)</p> <p>継続したい。</p> <p>今後も総合学力の養成を目指す。(高1)</p> <p>教科間の連携や調整が、今後も必要である。(高2)</p>						
		生徒の学力や生活実態などの情報を把握し、それを集団と個々に応じた指導に活かすことができたか。	<p>3年間模試分析を通して各科目の学力実態を把握し、授業をベースにしながら、目的別の補習や個人添削等でより個々に適した対処をしてきた。(高3 キャリア指導係)</p> <p>「スタディーサポート」や各考査の結果、及び年間を通じての個人面談により集団と個々への指導を繰り返した。考査前の補習も利用する生徒が増えた(高2 キャリア指導係)</p> <p>学習成績や面談等を通じて生徒の実態を把握し、学年全体としても改善すべき点を確認、検討した。(高1 キャリア指導係)</p> <p>各考査の成績や、校内・校外の学習実態調査の結果を、個別面談や保護者懇談会などに活かすことができた。(高1 キャリア指導係)</p> <p>学力推移調査の結果に基づいて、二者・三者での懇談を行い、情報を共有してきた。(中学 キャリア指導係)</p> <p>各考査の成績や、学習実態調査の結果を個人面談や保護者懇談会などに活かすことができた。(高1)</p> <p>「スタディーサポート」や各考査の結果、個人面談などにより、集団と個々への指導を繰り返した。(高2)</p> <p>毎回の模試の結果を分析し、生徒の指導・支援に生かした。個別面談を通じて生活状況を把握した。(高3)</p> <p>進路や学習に対して悩む生徒や精神的に苦しむ生徒に対して、副担任や生徒相談係と連携して対応した。(高3)</p> <p>学年行事「修学旅行」を実施することを通して、社会や人とのかかわりを見直すことができた。(中3)</p>	<p>生徒のメンタルな部分に配慮しつつ学力の伸長をはかっていきたい。(高3 キャリア指導係)</p> <p>学力差が年々拡がり、各成績層に合わせた「学習内容」の充実、「学習意欲」の持続へ課題が残る(高2 キャリア指導係)</p> <p>生徒の学習実態を継続的に把握し、学年や各教科で情報を共有したい。(高1 キャリア指導係)</p> <p>指導・支援を継続していく。(高1 キャリア指導係)</p> <p>継続したい。</p> <p>学年や各教科で情報を共有したい。(高1)</p> <p>進路希望実現に向け、さらにきめ細かい指導が必要である。(高2)</p> <p>次の学年にも継続したい。</p> <p>生徒個々の状況を見極めて柔軟に対応・支援していくことが重要である。(高3)</p> <p>次の学年にも継続したい。</p>	42	30	2	88.5	81.6	86.1

3	学習指導	魅力ある、質の高い授業を提供できるよう教科指導の研鑽に努めることができたか。	授業充実のためのアンケートを実施し、さらなる授業改善に役立てることができた。(係) 学習指導向上校内研修会を行うことで、授業改善の向上を図ることに役立てることができた。(係) 学年会等で教員間の情報交換を密におこなった。(高3)	授業改善に向けて研究授業を充実させ、教員間での情報を共有する。(係) 研修参加者を増やしたり、研修会の充実を図る。(係)	43	28	3		88.5	82.9	85.6
		生徒の学習実態調査(家庭学習時間など)の結果を分析・研究することができたか。また、分析・研究の結果を指導に活かすことができたか。	朝、3教科で補習を行った。(中1)	補習で何とかなるレベルではない(学力と学習内容の大きなズレ)(中1)							
4	生徒指導	通学中の交通事故をなくす努力ができたか。	SHR等での注意喚起を日常的に行った。(高3) トラブルの度に学年で指導を行った。(中1)	全学年で実施したい。 全学年で実施したい。	52	22			92.6	86.2	89.7
		いじめや暴力のない安全な学校生活を送るための啓発活動ができたか。	ロッカーの施錠を徹底し、盗難の防止に努めた。(高1) いじめアンケートを行うとともに、いじめや暴力を否定する人権意識の啓発・向上を図った。(高3) アセス(学校適応感調査)を行うことで、いじめや気になる記述に関して、丁寧に聞き取り・面談を行った。(中3)	携帯やSNSの利用については、今後も指導が必要である。(高1) 全学年で実施したい。 継続したい。							
4	人権教育	すべての教育活動が人権教育を基盤として行われ、いじめや体罰のない安心安全な学校づくりにつながったか。	8月29日に職員研修「発達障がいを抱えた生徒にどう関わるか」を実施。万年康男先生(稲荷山養護学校教育相談専任)に学び、発達障がいの概要と接し方のポイントについて理解した。(係) 10月4日に全校で人権教育講演会「外国籍の方との接し方」を実施。奥津グレイスさん(長野市外国籍児童・生徒就学指導員)のお話を聞き、長野県内の外国籍の方の現状と日本で暮らしていく上での困難点について学んだ。(係) 1月31日に人権教育LHR(1,2年)「海外の人たちをどう受け入れ、どうやって共に生きていくか」を実施。新聞記事等を材料に個人ワークとグループワークで今後の社会のあり方について考えた。(係) SHRやLHR等を通じて啓発を行った。(全学年)	発達障がいを抱えた生徒の人権・学習権を保障するために継続的に専門家のアドバイスをいただいでいくことが望ましい。(係) 人間関係やコミュニケーションスキルで課題を抱える生徒が少なくなっているので、ソーシャルスキルに関する講演やトレーニングが実施できるとよい。(係) 生徒の集団づくりの意味でもグループワークが継続できるとよい。(係) 継続したい。	50	23	1		91.6	87.8	90.1
		本校の教育活動の成果を、保護者、小中学生、地域に伝え、特色ある学校として理解してもらうことができたか。	学年通信や保護者説明会などを通して発信に努めた。(高2) 学年通信を通じて発信できた。(高3) 千曲市中学生議会の参加:科学リテラシーなどの取り組みを地域に発信できた。(中2)	継続したい。 次の学年にも継続したい。 2月での開催になったが、市との話し合いでもっとはやい時期に行えるとよい。(中2)							
5	情報発信	質実剛健の気風を大切にしながら、執行部と各会員が一体となった自主活動のための指導支援ができたか。	評議委員会や各種アンケート、そして対話集会などを活用しながら執行部と全校生徒とが一体となって活動し、鳩祭をはじめ各行事が充実したものにできた。(係) 各行事や日常の委員会活動において、職員の効果的な支援がみられた。(係) 新執行部の発足や生徒会の取り組みに対し、学年としても協力・支援を行った。(高2) 生徒会の中心学年として、執行部を中心に学校全体が団結できた。(高3)	今年度の成果と課題を踏まえ、全校生徒との対話を重視しながら来年度の企画を立案していきたい。(係) 中高でより一体感のある活動を目指していきたい。(係) 自主的で充実した活動になるよう、さらにサポートしていく。(高2) 次年度も継続したい。	49	25			91.6	86.8	88.9
		生徒一人ひとりが、生き生きとした活動をすることができたか。	生徒の自主的精神を重んじて活動できる支援をしてきた。(中3) 生徒会行事に参加する機会が高校に比べて少ない。(中学)	一部の生徒にとどまらない工夫(中1) 全員参加でないため難しい部分もあるが、生徒が主体的に企画・運営する活動があると良い。(中学)							
全体	校内美化	清掃用具の充実を図ると共に、生徒が自主的に校内美化を進められるように、指導・支援を行うことができたか。	ゴミの分別に対する意識が定着してきている。(係) 清掃を大切にするとともに、一人一人が積極的に校内美化にあたった。(高3) 指導は行った。(中1) 清掃分担場所が少なく人数があまるためか、丁寧な活動になっていない。(中2) 縦割清掃を行うことで、清掃内容やその改善点を考え、工夫をして清掃するよう支援してきている。(中3)	清掃の徹底など清掃委員会との連携を強化したい。(係) 次の学年にも継続したい。 職員全体の意識統一(中1) 当番制などの工夫が必要。(中2) 継続したい。	34	34	6		84.5	81.6	85.8
								指標の平均	89.2	84	87.6

指標は、A(4点)、B(3点)、C(2点)、D(1点)として最高100点となるように換算しました。 【換算式】 25×(4点×Aの数+3点×Bの数+2点×Cの数+1点×Dの数)÷総数